

平成30年第9回筑紫野市教育委員会定例会

○日 時

平成30年8月22日（水）午後2時02分から午後3時19分

○場 所

筑紫野市役所 第9会議室

○出席委員（5名）

教 育 長	上 野 二三夫	教 育 委 員	近 本 明
教 育 委 員	潮 見 眞千子	教 育 委 員	田 代 邦 夫
教 育 委 員	西 村 幸 子		

○欠 席 委 員（0名）

○出席説明員（8名）

教 育 部 長	八 尋 清 和	教 育 政 策 課 長	森 敬
学 校 教 育 課 長	吉 開 和 子	学 校 給 食 課 長	倉 掛 伸 夫
生 涯 学 習 課 長	長 澤 龍 彦	文 化 ・ ス ポ ー ツ 振 興 課 長	大 久 保 泰 輔
指 導 主 事	河 野 隆 子	社 会 教 育 主 事	砥 綿 麻 衣

○出席事務局職員（1名）

教 育 政 策 課
庶 務 担 当 係 長 葉 山 順 子

○議 事 日 程

1. 教育委員会会議録の承認について
平成30年第7回筑紫野市教育委員会会議録（平成30年7月26日開催）
2. 教育長の報告について
3. 議案第30号 平成29年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算教育費について
4. 議案第31号 平成29年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算について
5. 議案第32号 財産（土地）の取得について
6. 議案第33号 筑紫野市立山家幼稚園保育料徴収条例の全部を改正する条例の制定について
7. 議案第34号 平成30年度筑紫野市一般会計補正予算（第2号）教育費について
8. 各課等の報告について
9. その他

会議録

○教育長：ただいまから平成30年第9回筑紫野市教育委員会定例会を開会いたします。

では、議事日程の順序に従い会議を進めます。なお、発言は議長の許可を得た後にお願いをいたします。

日程第1、教育委員会会議録の承認の件

去る7月26日開催の平成30年第7回筑紫野市教育委員会会議録について承認することに御異議ありませんでしょうか。

○（特になし）

○教育長：なしと認めます。よって、本件については承認をされました。

日程第2、教育長の報告の件

- ・夏休み明けの学習や生活のリズムについて
- ・挨拶運動について
- ・地域の夏祭りについて
- ・学校運営に関して
- ・全国学力・学習状況調査の結果について
- ・市内中学校における自販機の設置
- ・学校閉庁日について

○田代教育委員：先ほどの学力・学習状況調査の中で、全国平均を100としたとき、一番いい学校、いい県は、どのぐらいの数値になっていますか。

○教育長：大体7点、8点上です。

○田代教育委員：10点も20点も上ということではないのでしょうか。

○教育長：ないです。

○田代教育委員：理科に関して言えば、かなり上のほうだということですか。

○教育長：そうです。

○近本教育委員：何年かの学力の流れを見ると、筑紫野市は上がってきています。上がってきているのは、指導主事や他のいろいろな先生の働きもあると思いますが、教育長の指導、助言が非常に的確だと思います。

○教育長：ありがとうございます。

○近本教育委員：ほかにも要因があると思いますが、いろいろ話を聞きながら思います。今後ともよろしくお願いします。

○教育長：はい、ありがとうございます。

○西村教育委員：学力調査のことですが、筑紫野市はコミュニティ・スクールが発足して、もう3年、4年たっています。それとの関連づけができるような学力状況調査の結果報告ができれば、もっとボランティアで学校にかかわっている方の力づけになると思います。勉強会や学習補助とかに入っている学校の上向き具合が分かるようにしていただけたらいいと思います。

○教育長：わかりました。そこは本当に大事なところですよ。ほかにもございますか。では、この件についてはよろしいでしょうか。

○（特になし）

日程第3、議案第30号、平成29年度筑紫野市一般会計歳入歳出決算教育費についての件

○教育政策課長：（議案説明）

○教育長：本件につきまして、何か質疑はございませんか。

○（特になし）

○教育長：それでは、質疑なしということで質疑を打ち切ります。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認をされました。

日程第4、議案第31号、平成29年度筑紫野市奨学資金貸与事業特別会計歳入歳出決算についての件

○学校教育課長：（議案説明）

○教育長：本件につきまして、何か質疑はございませんか。

○（特になし）

○教育長：それでは、質疑なしということで質疑を打ち切ります。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認をされました。

日程第5、議案第32号、財産（土地）の取得についての件

○教育政策課長：（議案説明）

○教育長：本件につきまして、何か質疑はございませんか。

○田代教育委員：用途としてはどういったことを予定されていますか。

○教育政策課長：今のところは教育委員会が取得をするということです。この土地の反対側に大きなマンションが建ちますし、二日市中学校の校区内にも今マンションが幾つも建ってきているということもあり、将来的に生徒数がふえたときに、例えば部活動する場所がないとか、グラウンドが手狭になるなど、そういうことに備えて、教育施設用地として、昨年度先行取得をさせていただきました。ですから、買い戻しをするに当たって何か用途が決まっているかという、具体的な用途については現在のところはまだ決まっておりません。将来的なそういった事態に備えるためといったことが現在の理由です。

○教育長：ほかございませんか。

○（特になし）

○教育長：では、この件につきましては質疑を打ち切ります。本件を承認することに御異議ありませんか。

○（特になし）

○教育長：御異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認をされました。

日程第6、議案第33号、筑紫野市山家幼稚園保育料徴収条例の全部を改正する条例の制定についての件

○学校教育課長：（議案説明）

○教育長：保護者のほうには、特に影響はないのでしょうか。

○学校教育課長：金額の変更はありません。

○教育長：これはあくまでも制度上変わったので整理したということですか。また、子育て支援課に事務が移ったのですか。

○学校教育課長：事務が一部移っております。

○西村教育委員：子育て支援法が、少子化に向けてすごく力を入れているところだと思いますが、保育園が無料化になる方向はあるのでしょうか。

○学校教育課長：まだ決定ではないのですが、国の案としては消費税を10%にしたら、そのかわり就学前教育の分を無料にするということで、幼稚園も含めた就学前教育というところで無償化の話はありますが、まだ決定ではありません。

○西村教育委員：法律が変わると、またこの条例と合わせて変わり、それに対して減額や、無償化になるということでしょうか。

○学校教育課長：はい。

○西村教育委員：市立幼稚園でなくても、私立幼稚園のほうも同じような条例が適用されるということですか。

- 学校教育課長：そうです。
- 教育部長：法律でそうなります。
- 西村教育委員：山家幼稚園だけが特別に何かの条例に該当するわけではないということですか。
- 学校教育課長：そうです。もし無償化になれば、全国一律になると思います。それに合わせて子育て支援課の保育所、山家幼稚園の保育料も含めて一部改正が必要になると思います。
- 西村教育委員：わかりました。
- 田代教育委員：確認ですが、保育料という言葉がなくなって、利用者負担額という表現になるという理解でよろしいですか。
- 学校教育課長：そうです。
- 田代教育委員：そして、子育て支援課に移管するのですが、規則は教育委員会に規則があるということですか。
- 学校教育課長：公立幼稚園の運営と教職員に関することは市長部局に移さないで教育委員会に属しておかないといけませんので、子育て支援課と話し合いの結果、保育料の決定までを教育委員会に残して、事務手続を事務移管という形になっています。入退園事務と保育料徴収事務だけが子育て支援課に移管しています。
- 教育長：では、この件については質疑を打ち切ってよろしいでしょうか。
- （特になし）
- 教育長：それでは、本件を承認することに御異議ありませんか。
- （特になし）
- 教育長：異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認をされました。

日程第7、議案第34号、平成30年度筑紫野市一般会計補正予算（第2号）教育費についての件

- 教育政策課長：（議案説明）
- 教育長：本件につきまして、何か質疑はございませんか。
- （特になし）
- 教育長：それでは、質疑なしということで質疑を打ち切ります。本件を承認することに御異議ありませんか。
- （特になし）
- 教育長：異議なしと認めます。よって、本件については原案のとおり承認をされました。
- 以上で本日の議事は終了いたしました。

各課等の報告

○教育部長

- ・新庁舎設についての進捗状況について
- ・平成30年第3回筑紫野市議会定例会9月議会について

○学校教育課長

- ・山家幼稚園の運動会について
- ・学校改善訪問について

○生涯学習課長

- ・夏休みを活用した小学生を対象青少年育成事業について
「ステキな夏休み教室」「BGレンジャー」

○文化・スポーツ振興課長

- ・夏休み期間の小学校のプール一般開放の報告について
- ・県民体育大会夏季大会の結果報告について
- ・県民体育大会秋季大会の日程について

○近本教育委員：県民大会の水泳で4位というのは、いい成績です。この成績は、今までの水泳協会の流れを見ると、亡くなった平山氏とウィンズの田中氏が中心になってつくってきたのです。2年ぐらい前に平山氏が、あと何年かしたらまた筑紫野市がよくなりますと言われていました。当初始めた頃は、北九州と福岡市と筑紫野市が競り合っていました。筑紫野市が北九州を抑えたり、福岡を抑えたりして、優勝はしていないけど、2番か3番でした。平山氏とウィンズの田中氏が中心になっていたので、今まで指導してきた中学校の水泳部の人たちがボランティアで来てくれています。他県にいる子も、この大会のときには応援に来るのです。そういう経過の上に、こういう成績があるということを一応踏まえていたほうが、今後の参考になると思います。

○潮見教育委員：市民プールがないのに、この成績を上げているというのは素晴らしいことだと思います。

○教育長：では、最後になります。文化財課長は、きょうは宝満山登山をしています。昨日、文化庁から主任調査官がお見えになって、宝満山の保存活用を2年間で太宰府と一緒に組んで行うという計画のもとで、現地指導に来てもらっています。今日4時半から、登った主任調査官を含めて講評があります。今回、7月の豪雨で幾つか被害に遭っているの、そういったことも含めて、今日報告を行います。

その他

○西村教育委員：先日、8月2日に女性教育委員会の会議に潮見委員と出席してまいりました。

そのときの内容が、HUG（ハグ）という避難所運営ゲームを体験してきました。

○潮見教育委員：H、U、G。

○西村教育委員：頭文字をとって、HUGというふうに総称で言っているのですが、それは自分たちが避難所を運営する立場になったら、どういうふうに接していったらいいかという、すごく幅広いことを考えていかななくてはいけない、シミュレーションゲームみたいなものです。

筑紫野市でも男女共同参画課で6月に1回されているみたいですが、これはやってみないとわからないと思います。私は今回、2回目の体験だったんですけど、潮見さんは、きっと1回目だったと思います。

○潮見教育委員：初めてです。

○西村教育委員：やってみないとわからないことです。災害が起こりました、避難者がどんどん押し寄せてきます、あなたは体育館で避難所を運営する立場ですという幾つかの項目が決められていて、それをどんどん振り分けていくというものです。お題がどんどんカードで出てきて振り分けていくのですが、ぜひこれは、中学生にも体験してもらいたいと思いました。春日市はすごく盛んにやっているようですが、小学生からお年寄りまでできるような内容です。ぜひ中学生とかも、災害とか多くなってきていますので、体験してほしいと思う内容でした。できれば教育委員会とかでも一度やってみたいと思います。

○潮見教育委員：春日の教育委員の西村さんがファシリテーターをしてくださいました。とても上手に進行してくださいました。本当、初めて聞くことばかりで、「ああ、そういうことがあるよね」というのを演習していくのですが、行政の方とか、地域の方たちとか、公民館を運営している方たちとかに、これは必要だと思いながら帰ってきました。誰がいつ、どこで運営する側になるかわからないからです。今の子どもたちにも、やってほしいと思います。いい体験をさせていただきました。

○西村教育委員：春日市は市長も参加されて、ぜひこれは全部に広げるようにという言葉添えがあったようで、今、春日市では盛んに行われているようです。

○教育長：具体的にする方向で、小学生、中学生も含めてやるとなれば、学校教育課長が案を考えて下さい。

○潮見教育委員：人権政策・男女共同参画課が6月にされたのでノウハウとか御存じだと思います。

○西村教育委員：中学校の防災訓練とかに実施するのもいいかと思います。

○潮見教育委員：それが進んだらマニュアル化というか、こういうことが起きたときに、まずこうしようという意識が、みんなができていけばいいと思います。

○教育長：わかりました。ぜひ実行する方向でお願いします。

- 近本教育委員：どういう手順で、どのようにすればいいか、マニュアルをつくって、それを検討してやっていくという、その経過を踏まえることも大事です。
- 教育長：いずれ学校にもおろしながら実施していきましょう。
- 西村教育委員：まず、行政側が体験してみることが大事かと思います。
- 教育政策課庶務担当係長：生涯学習課がいいと思います。
- 教育政策課長：強制的に実施するのであれば学校教育課で、学校ごとにやるとかになると思いますが、小学生とか中学生を集めて地域と一緒にやろうというのであったら生涯学習になると思います。
- 西村教育委員：参加形式だと、社会教育だと思います。
- 潮見教育委員：幅広くするなら社会教育です。
- 教育政策課長：社会教育主事が中心になってやれば広がると思います。
- 教育長：いいですか。ぜひ実現する方向でやっていきましょう。
- 田代教育委員：防災に関連することですが、2カ月ほど前に地震でブロック塀が壊れた事件があり、ブロック塀の危険性が非常に議論されたことがありましたが、実はブロック塀よりもガラス窓が割れることのほうが、被害が出ているらしいです。例えば教室とかで、上のほうにガラス窓があり、揺れたり、ひずんだりしたときに割れる可能性があるガラス窓がたくさんあるようです。施設によって状況は違うのですが、そういったところも、一度、ぜひ点検をしていただきたいと思います。学校に限らず、例えば生涯学習センターもエントランスから入ったすぐ頭の上にガラスがあります。あれなんか、考えたらぞっとするようなところにあります。ガラスじゃないものにするか、外してしまうか、割れないものにするか、そういった対策も必要だと思います。
- 教育政策課長：学校のガラスについては、確かに危ないのはあり、国の補助で、飛散防止フィルムを張る方法があります。ですから、これから学校が老朽化してきていますので、その中で、もし大規模改造とかするときにセットでできれば一番いいと思っています。
- 潮見教育委員：大規模改造する時ですか。
- 西村教育委員：待たないといけないのですか。
- 教育政策課長：ガラスを全部入れ替えるとなると、お金も相当かかりますので、方法としては、今の話をお伺いする中では、そういったフィルムを張るとというのが一番かと思います。
- 田代教育委員：そうですね。現実的です。生涯学習センターは、頭の上にあって、本当にあることに気がつかない位置です。
- 生涯学習課長：生涯学習センターも、今、森課長が言われたように、飛散防止フィルムを張って対策等はやっている部分もあります。
- 教育長：もう張っているのですか。

○生涯学習課長：はい。

○教育長：場所はどのあたりですか。

○生涯学習課長：例えば、3階ホールのホワイエのところの部分とかは、もう既に行っています。

○教育長：では、少々揺れても大丈夫ですか。

○西村教育委員：最小限に食いとめる努力はしているということですか。

○生涯学習課長：はい。

○教育政策課庶務担当係長：割れないとかではなく、割れても飛び散っていかないという対策です。

○教育長：だいぶ違うでしょう。

○潮見教育委員：教育スローガンです。総合教育会議で決めた教育スローガンですが、あれは市長も交えての話で決めたことなので、広報ちくしのに載せていただけたらいいと思います。いつもしつこいぐらい載せていただいて、常にここにはこの言葉が載っているというぐらい載せていただけたらいいと思います。この間、広報を見ながら、これに載せるのが一番いいかもしれないと思いながら見ました。何かなかなか、決まるのは決まったのですが、全庁的に取り組んでいるということが見えない気がします。まだ半年ぐらいです。無理かもしれないのですが、なかなか見えていないと思っています。忘れないうちにしたほうがいいと思って、お願いいたします。

○教育長：わかりました。

○近本教育委員：どんどん、あれを刷り込まなくてははいけません。

○教育長：はい。涵養です。

○潮見教育委員：自然にです。

○近本教育委員：もう、これでもか、これでもかと刷り込んでいくと、いわゆる人権尊重の精神の涵養に結びつくのです。じわじわ浸透するのです。そのために、あれをつくったのです。それで、今、潮見委員から出たように、あっちこちにそれが書いていないともあります。何がわかるかというと、行政の横のつながりがどうなのか、縦がどうなのか、縦横のつながりというものもあれでつくっていかなくてははいけないと思います。やはり、あっちこちにぜひ貼ってください。

○教育長：ぜひこれは働きかけて実現するようにしましょう。

○潮見教育委員：お願いいたします。

○教育部長：きょう午前中、筑紫野中学校に工事の完了の確認に行ってきたが、2階の教室の階段から1階におりるときの踊り場に大きく張ってありました。

○潮見教育委員：うれしい。そうですか。

○教育長：学校はそのようにしています。

○潮見教育委員：ありがとうございます。

○近本教育委員：校長には、みんな1対1でずっと話していったので、すぐ次の日には張り出しています。

○教育政策課長：大体、学校の昇降口のところに張ってあります。

○潮見教育委員：生涯学習センターにも張ってありますか。

○生涯学習課長：生涯学習センターは青少年プラザに掲示させていただいております。

○潮見教育委員：そうですか。気がつかないかったです。

○近本教育委員：あのスローガンは、市役所の職場づくりにも活用しないといけません。

○潮見教育委員：もっと全庁的に活用いただきたいと思います。

○近本教育委員：みんなが働きやすい職場にならないといけません。子どもばかりではなく、学校も職場も、みんなと思います。

○教育長：わかりました。ありがとうございます。

他ございませんか。

○（特になし）

○教育長：それでは、これもちまして平成30年第9回筑紫野市教育委員会定例会を閉会いたします。